

【がん種】 [大腸癌](#)
 【レジメン名】 FOLFOXIRI+Bmab②13コース目～
 【登録番号】 160549
 【1コースの期間】 2週間
 【総コース数】 進行・再発:PDまで(FOLFOXIRI+Bmab①1～12コース目 終了後から)
 【催吐性リスク】 軽度:5-FU、最小度:ペバシズマブ
 【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):5-FU、ノンビシカント(非壊死性):ペバシズマブ
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、疲労、間質性肺炎、高血圧、蛋白尿、出血、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、消化管穿孔、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 N Engl J Med 371:1609-1618, 2014. Lancet Oncol 16:1306-1315, 2015. Clinical Colorectal Cancer 17:147-155, 2018.

【点滴の時間】 [day1～]初回51時間5分、2回目50時間35分、3回目50時間5分
 【費用】 編集中
 【その他】 対象患者:UGT1A1に*6(*6/*6)、*28(*28/*28)、*6(-/*6)+*28(-/*28)のいずれかの多型がない。原則、CVポートを増設して治療を行う。

携帯型ポンプの使用可否:CVポートを造設している、外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時も使用可能、外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可)。

携帯型ディスプレイ注入ポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日							
					1	2	3	4	...	14		
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○							
2	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分	○							
3	生理食塩液 100mL ペバシズマブBS点滴静注「ファイザー」 初回90分、2回目1時間、3回目～30分	1 B 5 mg/kg	側管	フィルター使用	○							
4	5%ブドウ糖液 250mL レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	1 B 200 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○							
5	5-FU注	3200 mg/m2	メイン	48時間 携帯型ポンプ使用	○							

携帯型ディスプレイ注入ポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日							
					1	2	3	4	...	14		
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○							
2	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分	○							
3	生理食塩液 100mL ペバシズマブBS点滴静注「ファイザー」 初回90分、2回目1時間、3回目～30分	1 B 5 mg/kg	側管	フィルター使用	○							
4	5%ブドウ糖液 250mL レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	1 B 200 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○							
5	生理食塩液 500mL 5-FU注	1 B 3200 mg/m2	側管	48時間 フィルター使用	○							